

■米国：NERC が天然ガス火力に依存し過ぎることに警鐘

北米電力信頼度協会（NERC）は 2016 年 5 月 24 日、天然ガス火力への依存度の高まりが系統信頼度に与える影響に関する特別評価レポートを公表した。米国では、一般的に冬季（厳寒期）にガスパイプラインの容量制約等による燃料調達リスクが顕在化していたが、2015 年 10 月に国内最大規模の天然ガス貯蔵設備であるカリフォルニア州の Alison Canyon 天然ガス貯蔵施設でガス漏れ事故が発生したことを受け、ガス設備事故が系統信頼度に与える影響が大きく認識された。NERC は、天然ガス火力が全電源設備容量の 40%を超える地域（ニューイングランド地方、ニューヨーク州、テキサス州、カリフォルニア州）を対象に分析を行い、単一の電源および燃料に依存し過ぎることによる潜在的なリスクを指摘した。また、対策として、ガス事業と電気事業のより密接な協調を図り、ガス供給量の状態監視を強化することや電源開発および系統計画において、ガス貯蔵設備やガスパイプライン等の事故を考慮した信頼度対策を検討することを推奨している。